



# 令和元年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年7月12日

上場会社名 株式会社 大庄  
 コード番号 9979 URL <http://www.daisyoko.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 了寿  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 野間 信護  
 四半期報告書提出予定日 令和元年7月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-5764-2229

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和元年8月期第3四半期の連結業績(平成30年9月1日～令和元年5月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
元年8月期第3四半期	46,030	0.5	779	61.9	820	60.0	265	53.8
30年8月期第3四半期	46,261	4.5	481	20.3	512	17.2	576	

(注) 包括利益 元年8月期第3四半期 217百万円 ( 63.6%) 30年8月期第3四半期 596百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
元年8月期第3四半期	12.86	
30年8月期第3四半期	27.85	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
元年8月期第3四半期	43,186	22,331	51.2	1,069.70
30年8月期	42,511	22,409	52.2	1,073.70

(参考) 自己資本 元年8月期第3四半期 22,125百万円 30年8月期 22,208百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年8月期		6.00		8.00	14.00
元年8月期		6.00			
元年8月期(予想)				8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和元年8月期の連結業績予想(平成30年9月1日～令和元年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,530	0.0	805	98.0	820	108.3	70	65.4	3.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	元年8月期3Q	21,198,962 株	30年8月期	21,198,962 株
期末自己株式数	元年8月期3Q	514,884 株	30年8月期	514,834 株
期中平均株式数(四半期累計)	元年8月期3Q	20,684,097 株	30年8月期3Q	20,684,183 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済政策・金融政策の効果为背景に、企業収益や雇用環境の改善が見られたものの、金融市場の変動や海外経済情勢の不確実性などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。外食業界におきましては、消費者の強い節約志向に加え、食材の高騰や人手不足が続く中での人件費の高騰など、依然として厳しい環境が続きました。

このような状況下において、当社グループは、前期までの施策による投資効果を実現させ投資回収を図るため、巡航速度での店舗リストラクチャリングの取組み、店舗業態・MD（マーチャンダイジング）の充実化及び差別化、店舗運営の生産性向上への取組み、従業員教育とモチベーションアップ策の拡充、外販事業の拡大等の施策に取り組みました。

また、店舗展開におきましては、新規出店を13店舗、店舗改装を18店舗、店舗閉鎖を26店舗で行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ0.5%減少の46,030百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、当社グループの既存店売上高が対前年比100.2%と増加したものの、前期及び当期に実施した店舗閉鎖による売上減少が影響し、売上高は前年同期に比べ2.4%減少の35,647百万円となりました。

卸売事業につきましては、卸売子会社のグループ外部取引先への食材卸売が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ0.5%増加の3,108百万円となりました。

不動産事業につきましては、連結子会社の外部売上高が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ0.8%増加の843百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、「ボランティアチェーン（VC）制度」の推進に伴う事業の拡大により、売上高は前年同期に比べ8.9%増加の354百万円となりました。

運送事業につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が増加したことにより、売上高は前年同期に比べ12.6%増加の5,656百万円となりました。

その他事業につきましては、売上高は前年同期に比べ6.0%減少の419百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は779百万円（前年同期比61.9%増）、経常利益は820百万円（同60.0%増）となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前期に多額の特別利益を計上したことなどが影響し、前年同期に比べ53.8%減少の265百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は16,965百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,229百万円増加となりました。これは、現金及び預金が1,171百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は26,202百万円となり、前連結会計年度末に比べて554百万円減少となりました。これは、敷金及び差入保証金が269百万円減少したこと等によるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は9,043百万円となり、前連結会計年度末に比べて62百万円減少となりました。これは、未払金が273百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は11,812百万円となり、前連結会計年度末に比べて815百万円増加となりました。これは、長期借入金が924百万円増加したこと等によるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は22,331百万円となり、前連結会計年度末に比べて78百万円減少となりました。これは、配当金の支払いや親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が23百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年4月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,164	13,336
売掛金	2,111	2,131
商品及び製品	546	506
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	154	154
その他	911	971
貸倒引当金	△153	△134
流動資産合計	15,736	16,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,137	10,099
機械装置及び運搬具(純額)	659	651
工具、器具及び備品(純額)	621	568
土地	3,699	3,699
リース資産(純額)	108	65
建設仮勘定	7	24
有形固定資産合計	15,232	15,109
無形固定資産		
借地権	913	913
リース資産	0	—
その他	726	685
無形固定資産合計	1,640	1,598
投資その他の資産		
投資有価証券	293	207
出資金	3	3
長期貸付金	17	17
差入保証金	5,935	5,810
敷金	3,201	3,056
繰延税金資産	321	244
その他	214	236
貸倒引当金	△102	△82
投資その他の資産合計	9,884	9,494
固定資産合計	26,757	26,202
繰延資産		
社債発行費	17	18
繰延資産合計	17	18
資産合計	42,511	43,186

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,010	1,835
短期借入金	75	40
1年内返済予定の長期借入金	2,995	3,126
1年内償還予定の社債	90	130
リース債務	59	40
未払金	2,523	2,250
未払法人税等	341	214
未払消費税等	132	442
賞与引当金	404	203
株主優待引当金	137	87
店舗閉鎖損失引当金	1	7
資産除去債務	32	33
その他	301	630
流動負債合計	9,105	9,043
固定負債		
社債	765	815
長期借入金	5,672	6,596
リース債務	74	43
退職給付に係る負債	1,887	1,864
役員退職慰労引当金	239	214
受入保証金	599	629
資産除去債務	1,347	1,256
繰延税金負債	405	386
その他	4	6
固定負債合計	10,996	11,812
負債合計	20,101	20,855
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	9,908	9,908
利益剰余金	4,129	4,105
自己株式	△602	△603
株主資本合計	22,060	22,037
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153	93
土地再評価差額金	△5	△5
その他の包括利益累計額合計	147	88
非支配株主持分	201	205
純資産合計	22,409	22,331
負債純資産合計	42,511	43,186

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年9月1日 至令和元年5月31日)
売上高	46,261	46,030
売上原価	18,324	18,818
売上総利益	27,937	27,211
販売費及び一般管理費	27,455	26,431
営業利益	481	779
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	2
受取保険金	25	21
貸倒引当金戻入額	19	1
その他	46	69
営業外収益合計	94	94
営業外費用		
支払利息	28	28
その他	34	24
営業外費用合計	63	53
経常利益	512	820
特別利益		
固定資産売却益	846	1
受取補償金	241	17
関係会社株式売却益	—	15
特別利益合計	1,087	34
特別損失		
固定資産除却損	221	122
店舗関係整理損	53	22
減損損失	124	184
事業支援損	39	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1	7
子会社移転費用	18	—
特別損失合計	458	337
税金等調整前四半期純利益	1,142	517
法人税、住民税及び事業税	201	157
法人税等調整額	354	84
法人税等合計	556	241
四半期純利益	586	276
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	576	265



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成30年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年9月1日 至 令和元年5月31日)
四半期純利益	586	276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	△59
その他の包括利益合計	10	△59
四半期包括利益	596	217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	586	206
非支配株主に係る四半期包括利益	9	10

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年9月1日至平成30年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フランチャ イズ事 業	運送事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	36,535	3,091	836	325	5,025	45,815	446	46,261	—	46,261
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	7,670	278	—	488	8,438	353	8,792	△8,792	—
計	36,536	10,762	1,115	325	5,514	54,254	799	55,054	△8,792	46,261
セグメント利益	1,554	150	261	197	76	2,240	99	2,340	△1,858	481

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,858百万円には、セグメント間の取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,857百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において118百万円であります。

「フランチャイズ事業」セグメントにおいて、フランチャイズ店への賃貸資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において5百万円であります。

「その他」セグメントにおいて、その他の資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において0百万円であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年9月1日至令和元年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	運送事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	35,647	3,108	843	354	5,656	45,611	419	46,030	—	46,030
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	7,703	266	1	593	8,566	382	8,948	△8,948	—
計	35,649	10,812	1,109	356	6,250	54,177	801	54,979	△8,948	46,030
セグメント利益	1,849	66	289	190	51	2,447	108	2,555	△1,775	779

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,775百万円には、セグメント間の取引消去374百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,150百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において180百万円であります。

「その他」セグメントにおいて、その他の資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において4百万円であります。

以上